平成 27 年度

長崎大学の教育改善に向けたアンケート集計結果

(2016年2月17日現在)

- 学生発案型授業をつくる-



NAGASAKI UNIVERSITY

学生による教育改善のための協議会

【目的】

長崎大学の教育改善に向け、学生の要望をまとめ、学長や教務担当の教員に伝えることで、より速やかな教育改善を目指す。また、平成 29 年度に教養教育の自由選択科目に学生発案型授業を立ち上げることを目標に、授業設計に向けた学生の意見を集約する。

【時期・方法】

実施日:2015年12月~2016年2月

対 象 : 1,690 名 (全学部 2 年生)

回答数:814名 回収率:48.2%

実施方法:各部局の評価・FD 教育改善専門部会委員や学務係等に依頼をし、必修授業等の終了

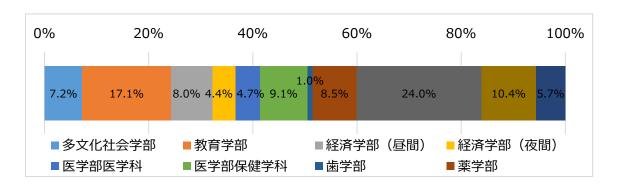
時や実習の説明会後に実施をした。実施方法は各部局で異なる。

【企画・実施】

学生による教育改善のための協議会

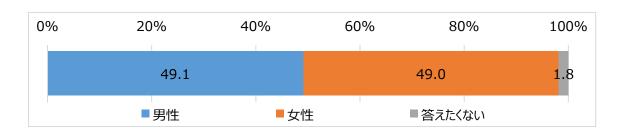
問1 学部·学科

	度数	定員	割合
多文化社会学部	59	96	61.5
教育学部	139	242	57.4
経済学部 (昼間)	65	273	23.8
経済学部(夜間)	36	58	62.1
医学部医学科	38	138	27.5
医学部保健学科	74	106	69.8
歯学部	8	53	15.1
薬学部	69	84	82.1
工学部	195	395	49.4
環境科学部	85	130	65.4
水産学部	46	115	40.0
合計	814	1690	48.2



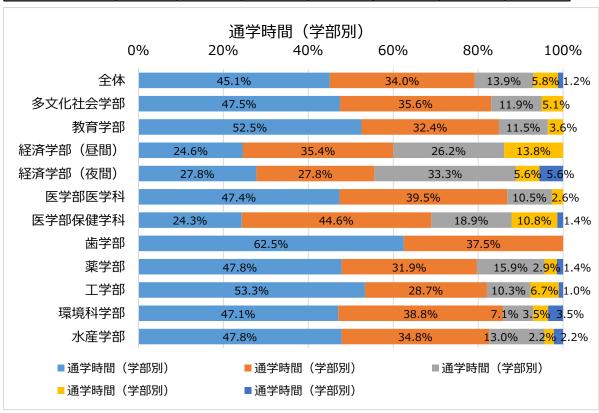
問2 性別

	度数	割合
男性	400	49.1
女性	399	49.0
答えたくない	15	1.8
合計	814	100.0



問3 自宅から大学までの通学時間

		~10分	~30分	~1時間	~1時間半	1時間半~	合計
全体	度数	367	277	113	47	10	814
土坪	割合	45.1%	34.0%	13.9%	5.8%	1.2%	100.0%
多文化社会学部	度数	28	21	7	3	0	59
多文化社会于即	割合	47.5%	35.6%	11.9%	5.1%	0.0%	100.0%
教育学部	度数	73	45	16	5	0	139
教育于即	割合	52.5%	32.4%	11.5%	3.6%	0.0%	100.0%
経済学部(昼間)	度数	16	23	17	9	0	65
柱月子印(竺间)	割合	24.6%	35.4%	26.2%	13.8%	0.0%	100.0%
経済学部(夜間)	度数	10	10	12	2	2	36
柱月子印(牧间)	割合	27.8%	27.8%	33.3%	5.6%	5.6%	100.0%
医学部医学科	度数	18	15	4	1	0	38
区于即区于行	割合	47.4%	39.5%	10.5%	2.6%	0.0%	100.0%
医学部保健学科	度数	18	33	14	8	1	74
区于即体性于符	割合	24.3%	44.6%	18.9%	10.8%	1.4%	100.0%
歩学部	度数	5	3	0	0	0	8
图于 即	割合	62.5%	37.5%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
薬学部	度数	33	22	11	2	1	69
采于 即	割合	47.8%	31.9%	15.9%	2.9%	1.4%	100.0%
工学部	度数	104	56	20	13	2	195
工子即	割合	53.3%	28.7%	10.3%	6.7%	1.0%	100.0%
環境科学部	度数	40	33	6	3	3	85
垛块件子即 	割合	47.1%	38.8%	7.1%	3.5%	3.5%	100.0%
水産学部	度数	22	16	6	1	1	46
小生子副	割合	47.8%	34.8%	13.0%	2.2%	2.2%	100.0%



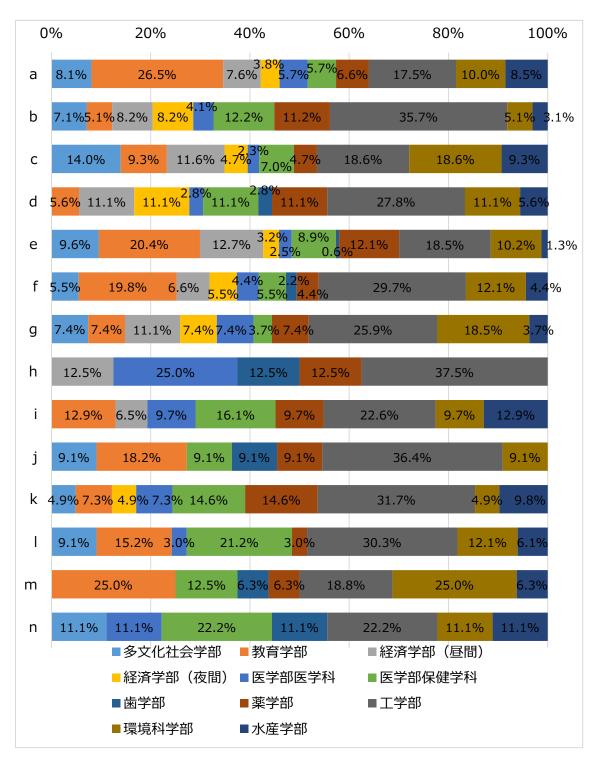
問 4 授業方法

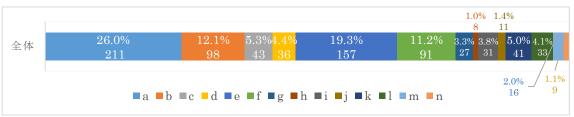
新たな科目を開設する場合、どのような形態(内容)で開講されると良いか。(複数選択可)

- a.課題発見・課題解決に向け、書籍や雑誌、新聞などから情報を収集し、発表する授業
- b.データやグラフから情報を読み取り、客観的かつ多角的に整理し発表をする授業
- c.SWOT 分析や KJ 法などを学び、その知識を活用して課題発見力を高められる授業
- d.フローチャートやロジックツリー等、社会で活用されているフレーム・リスク分析を学べる授業
- e.グループワークのある授業
- f.初対面や他大学の学生、社会人との協働を経験できる授業
- g.お互いの論点の違いを明確にしてディベートを経験できる授業
- h.強いプレッシャーやストレスのかかる学会発表やプレゼンを経験できる授業
- i.失敗を経験できる授業。その失敗からも学ぶことが多い授業。
- j.結果がでるまで粘り強く取り組む力が身に付く授業
- k.物事の本質や因果関係を論理的に考えることができるようになる授業
- I.限られた時間や予算の中で計画を練り上げたり、立てた計画の達成見込みや問題を客観的に検討する機会を経験できる授業
- m.想定外の事態に対して、計画を変更しながら成果を出すような経験ができる授業 n.その他

		а	b	С	d	е	f	g	h	i	j	k	I	m	n	合計
全体	度数	211	98	43	36	157	91	27	8	31	11	41	33	16	9	812
王座	割合	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
多文化社会学部	度数	17	7	6	0	15	5	2	0	0	1	2	3	0	1	59
多文化社会于即	割合	8.1%	7.1%	14.0%	0.0%	9.6%	5.5%	7.4%	0.0%	0.0%	9.1%	4.9%	9.1%	0.0%	11.1%	100.0%
教育学部	度数	56	5	4	2	32	18	2	0	4	2	3	5	4	0	137
3XH 7 III	割合	26.5%	5.1%	9.3%	5.6%	20.4%	19.8%	7.4%	0.0%	12.9%	18.2%	7.3%	15.2%	25.0%	0.0%	100.0%
経済学部(昼間)	度数	16	8	5	4	20	6	3	1	2	0	0	0	0	0	65
	割合	7.6%	8.2%	11.6%	11.1%	12.7%	6.6%	11.1%	12.5%	6.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
経済学部(夜間)	度数	8	8	2	4	5	5	2	0	0	0	2	0	0	0	36
	割合	3.8%	8.2%	4.7%	11.1%	3.2%	5.5%	7.4%	0.0%	0.0%	0.0%	4.9%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
医学部医学科	度数	12	4	1	1	4	4	2	2	3	0	3	1	0	1	38
ATDATA	割合	5.7%	4.1%	2.3%	2.8%	2.5%	4.4%	7.4%	25.0%	9.7%	0.0%	7.3%	3.0%	0.0%	11.1%	100.0%
医学部保健学科	度数	12	12	3	4	14	5	1	0	5	1	6	7	2	2	74
E J IPARE J 11	割合	5.7%	12.2%	7.0%	11.1%	8.9%	5.5%	3.7%	0.0%	16.1%	9.1%	14.6%	21.2%	12.5%	22.2%	100.0%
 	度数	0	0	0	1	1	2	0	1	0	1	0	0	1	1	8
四子叫	割合	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%	0.6%	2.2%	0.0%	12.5%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	6.3%	11.1%	100.0%
薬学部	度数	14	11	2	4	19	4	2	1	3	1	6	1	1	0	69
来于n/	割合	6.6%	11.2%	4.7%	11.1%	12.1%	4.4%	7.4%	12.5%	9.7%	9.1%	14.6%	3.0%	6.3%	0.0%	100.0%
工学部	度数	37	35	8	10	29	27	7	3	7	4	13	10	3	2	195
エナロ	割合	17.5%	35.7%	18.6%	27.8%	18.5%	29.7%	25.9%	37.5%	22.6%	36.4%	31.7%	30.3%	18.8%	22.2%	100.0%
環境科学部	度数	21	5	8	4	16	11	5	0	3	1	2	4	4	1	85
3x30177-0P	割合	10.0%	5.1%	18.6%	11.1%	10.2%	12.1%	18.5%	0.0%	9.7%	9.1%	4.9%	12.1%	25.0%	11.1%	100.0%
水産学部	度数	18	3	4	2	2	4	1	0	4	0	4	2	1	1	46
ハケナロ	割合	8.5%	3.1%	9.3%	5.6%	1.3%	4.4%	3.7%	0.0%	12.9%	0.0%	9.8%	6.1%	6.3%	11.1%	100.0%



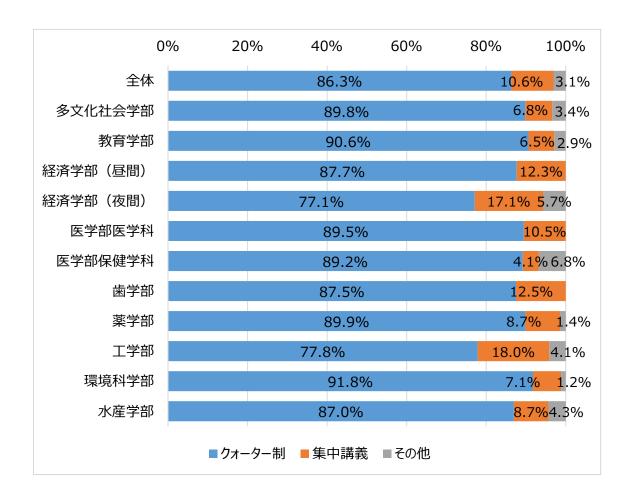




問 5 開講時期 新たな科目を開設する場合、どのような時期に開講されると良いか。

		クォーター制	集中講義	その他	合計
全体	度数	701	86	25	812
土坪	割合	86.3%	10.6%	3.1%	100.0%
多文化社会学部	度数	53	4	2	59
多人化社会于印	割合	89.8%	6.8%	3.4%	100.0%
教育学部	度数	126	9	4	139
教育于即	割合	90.6%	6.5%	2.9%	100.0%
経済学部(昼間)	度数	57	8	0	65
性况于即(查询)	割合	87.7%	12.3%	0.0%	100.0%
経済学部(夜間)	度数	27	6	2	35
性/月子即(1文1时)	割合	77.1%	17.1%	5.7%	100.0%
医学部医学科	度数	34	4	0	38
区于印区于行	割合	89.5%	10.5%	0.0%	100.0%
医学部保健学科	度数	66	3	5	74
区于印体性于符	割合	89.2%	4.1%	6.8%	100.0%
歯学部	度数	7	1	0	8
M	割合	87.5%	12.5%	0.0%	100.0%
薬学部	度数	62	6	1	69
未于印	割合	89.9%	8.7%	1.4%	100.0%
工学部	度数	151	35	8	194
	割合	77.8%	18.0%	4.1%	100.0%
環境科学部	度数	78	6	1	85
たんかいイナロド 	割合	91.8%	7.1%	1.2%	100.0%
水産学部	度数	40	4	2	46
	割合	87.0%	8.7%	4.3%	100.0%

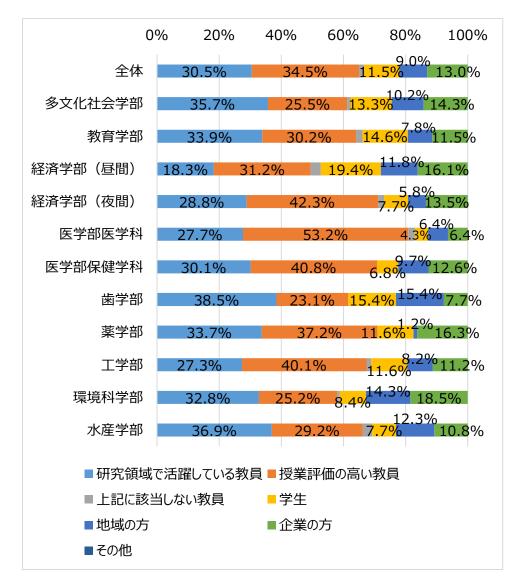
- ・今まで通り(13)
- 開設しなくて良い(4)
- ・1 週間に 1 コマ (2)
- ・空き時間 (2)
- ・モジュールの時間
- ・クォーター制は導入しないほうが良いと思う
- ・クォーターわかりづらいです
- ・わからない

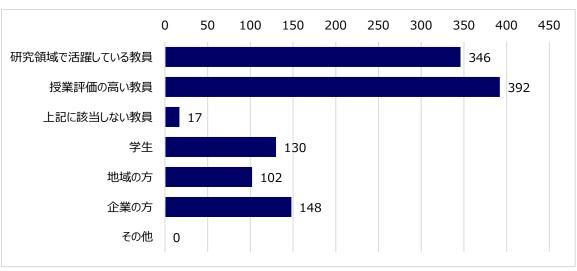


問 6 授業の主担当者 新たな科目を開設する場合、誰が中心になって授業を行うのが良いか。(複数選択可)

		研究領域で 活躍している 教員	授業評価の 高い教員	上記に該当 しない教員	学生	地域の方	企業の方	その他	合計
全体	度数	346	392	17	130	102	148	0	1135
土体	割合	42.5%	48.2%	2.1%	16.0%	12.5%	18.2%	0.0%	139.4%
多文化社会学部	度数	35	25	1	13	10	14	0	98
多文化社会于即	割合	59.3%	42.4%	1.7%	22.0%	16.9%	23.7%	0.0%	166.1%
教育学部	度数	65	58	4	28	15	22	0	192
	割合	46.8%	41.7%	2.9%	20.1%	10.8%	15.8%	0.0%	138.1%
経済学部(昼間)	度数	17	29	3	18	11	15	0	93
柱冲子印(空间)	割合	26.2%	44.6%	4.6%	27.7%	16.9%	23.1%	0.0%	143.1%
経済学部(夜間)	度数	15	22	1	4	3	7	0	52
推准子司(校间)	割合	41.7%	61.1%	2.8%	11.1%	8.3%	19.4%	0.0%	144.4%
医学部医学科	度数	13	25	1	2	3	3	0	47
区子即区子科	割合	34.2%	65.8%	2.6%	5.3%	7.9%	7.9%	0.0%	123.7%
医学部保健学科	度数	31	42	0	7	10	13	0	103
医子即体性子科	割合	41.9%	56.8%	0.0%	9.5%	13.5%	17.6%	0.0%	139.2%
歯学部	度数	5	3	0	2	2	1	0	13
图子印	割合	62.5%	37.5%	0.0%	25.0%	25.0%	12.5%	0.0%	162.5%
薬学部	度数	29	32	0	10	1	14	0	86
(余子司) 	割合	42.0%	46.4%	0.0%	14.5%	1.4%	20.3%	0.0%	124.6%
工学部	度数	73	107	4	31	22	30	0	267
工子部	割合	37.4%	54.9%	2.1%	15.9%	11.3%	15.4%	0.0%	136.9%
1曲1年175540	度数	39	30	1	10	17	22	0	119
環境科学部	割合	45.9%	35.3%	1.2%	11.8%	20.0%	25.9%	0.0%	140.0%
水産学部	度数	24	19	2	5	8	7	0	65
小生子司	割合	52.2%	41.3%	4.3%	10.9%	17.4%	15.2%	0.0%	141.3%

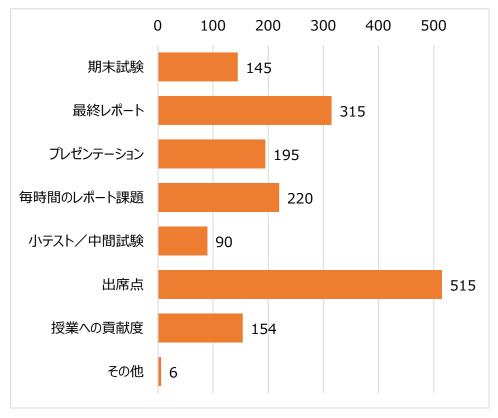
- ・開設しなくて良い(2)
- ・無駄話が少ない人
- ・教職を持っている人





問 7 成績評価の方法 新たな科目を開設する場合、どのような成績評価の方法が良いか。(複数選択可)

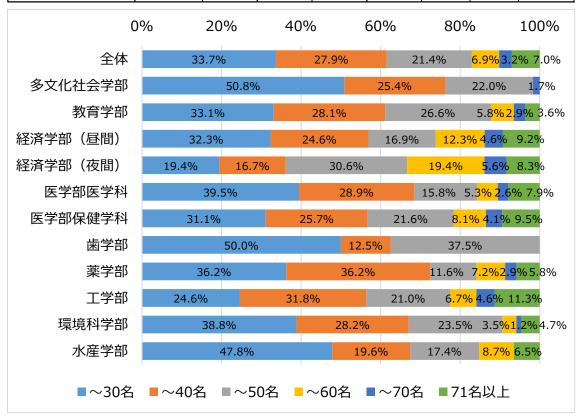
	度数	割合
期末試験	145	8.8%
最終レポート	315	19.2%
プレゼンテーション	195	11.9%
毎時間のレポート課題	220	13.4%
小テスト/中間試験	90	5.5%
出席点	515	31.4%
授業への貢献度	154	9.4%
その他	6	0.4%
合計	1640	100.0%



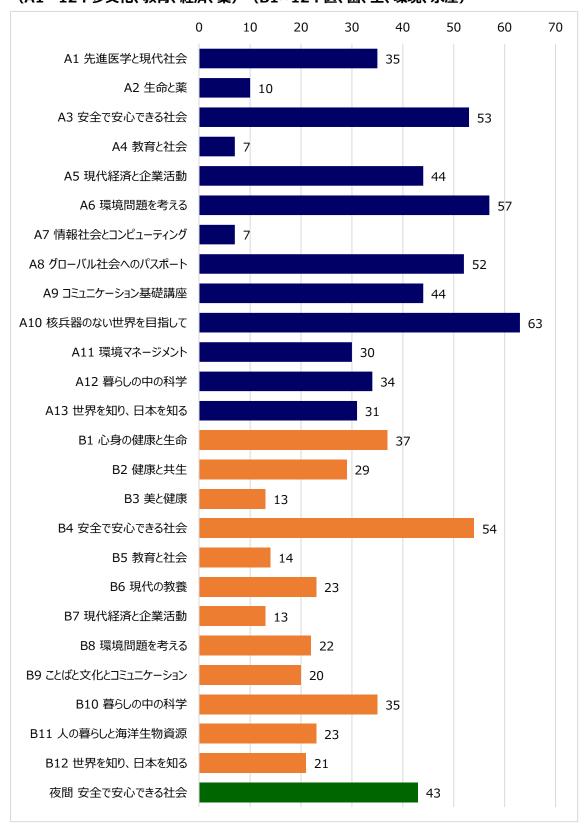
- ・進展度
- ・授業ノート
- ・開設しなくて良い

問8 受講者数 新たな科目を開設する場合、受講者数は、どのくらいが良いか。

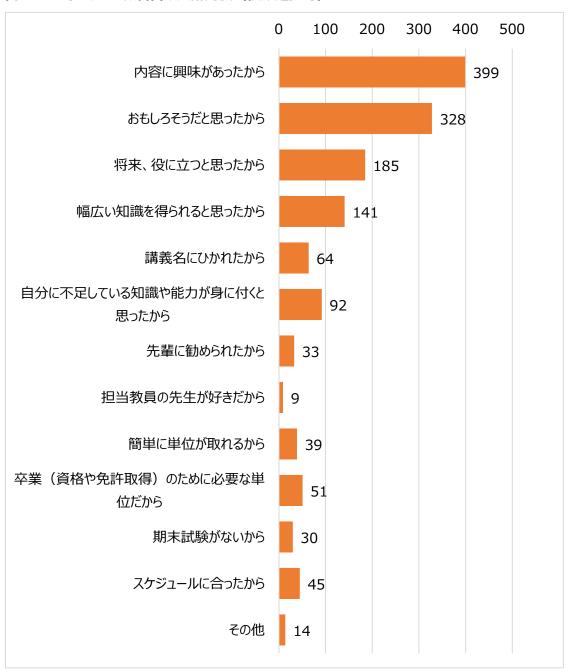
		~30名	~40名	~50名	~60名	~70名	71名以	合計
	亩粉	274	227	174	56	26	71 11 57	814
全体	度数							
	割合	33.7%	27.9%	21.4%	6.9%	3.2%	7.0%	100.0%
多文化社会学部	度数	30	15	13	0	1	0	59
	割合	50.8%	25.4%	22.0%	0.0%	1.7%	0.0%	100.0%
教育学部	度数	46	39	37	8	4	5	139
教育子 型	割合	33.1%	28.1%	26.6%	5.8%	2.9%	3.6%	100.0%
経済学部(昼間)	度数	21	16	11	8	3	6	65
在对子司(些间)	割合	32.3%	24.6%	16.9%	12.3%	4.6%	9.2%	100.0%
您这些如 <i>(</i> 在8)	度数	7	6	11	7	2	3	36
経済学部(夜間)	割合	19.4%	16.7%	30.6%	19.4%	5.6%	8.3%	100.0%
医类型医类的	度数	15	11	6	2	1	3	38
医学部医学科	割合	39.5%	28.9%	15.8%	5.3%	2.6%	7.9%	100.0%
医学动位体学的	度数	23	19	16	6	3	7	74
医学部保健学科	割合	31.1%	25.7%	21.6%	8.1%	4.1%	9.5%	100.0%
 	度数	4	1	3	0	0	0	8
幽子 即	割合	50.0%	12.5%	37.5%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
本学如	度数	25	25	8	5	2	4	69
薬学部	割合	36.2%	36.2%	11.6%	7.2%	2.9%	5.8%	100.0%
工学 如	度数	48	62	41	13	9	22	195
工学部	割合	24.6%	31.8%	21.0%	6.7%	4.6%	11.3%	100.0%
理培利学如	度数	33	24	20	3	1	4	85
環境科学部	割合	38.8%	28.2%	23.5%	3.5%	1.2%	4.7%	100.0%
水産学部	度数	22	9	8	4	0	3	46
小生子可	割合	47.8%	19.6%	17.4%	8.7%	0.0%	6.5%	100.0%



問 9 受講している全学モジュールテーマ (A1~12:多文化、教育、経済、薬) (B1~12:医、歯、工、環境、水産)



問 10 全学モジュール科目の受講動機(複数選択可)



問 11 受講している自由選択科目(代表的な科目を1つ)

日本国憲法(164) 教育心理(2) 進化の何とか 解放講座(52) 子どもの保健 進化生態学(2) 平和講座(51) 子ども臨床 人類学 障害児の心理 病理 戦争と平和 グローバル人類学(5) 幼児教育 環境(5) キャリア概論(14) 環境と進化と多様性(4) キャリアデザイン(9) ジェンダーと法 (5) 環境生理学 リーダーシップ論(2) 生命科学 日本史 日本文化思想 植物自然史 長崎学(97) 地理学 平成長崎塾(21) 企業ファイナンス オランダの文化(5) マクロ経済 スポーツ演習(4) オランダ語 (5) 健康科学 オランダの言語(3) 基礎英語(7) 英語コミュニケーション(2) 東アジアの国際関係(7) 基礎数学(5) English Specific for 日本の言語と文化(5) 数学(2) Purpose 擬似科学(25) 工業数学 TOEIC (2) 芸術と文化(11) 応用数学C 中国語 宗教学(19) 基礎化学(4) ドイツ語(2) 共生のグローバル人類学 教養ゼミナール 科学 (10)基礎生物(45) 情報基礎 アジアの多文化社会 生物(33) 国文学概論(2) 物理科学(9) 生物から見た水産業 英国文学史 基礎物理(23) 異文化理解コミュニケーション 英米文学概論 物理(9) マスメディア 越境する文化 量子化学 老化と死(2) 男女参画機会のすすめ 量子力学 文字とことば 世界で輝く女性のためのワーク 医療の安全・安心 ライフバランス (2) 化学実験 I 音楽 地域から世界へ輝く女性たちと 有機化学 音楽と芸術 そのサポート 有機電子論(2) 働く女性のサポート 建築学概論(3) 問題解決の進め方(放送大 創成プロジェクト(2) 学) 国際理解教育論(6) 電子回路 NICE キャンパス(5) 特別支援教育(5) 航空宇宙概論 PL家族社会学(5) 航空宇宙構造工学概論 合奏 社会学(4) 中等国語(2) 未履修(27) 分からない(9) 教育原理論 暮らしと電気

まだ取れてない

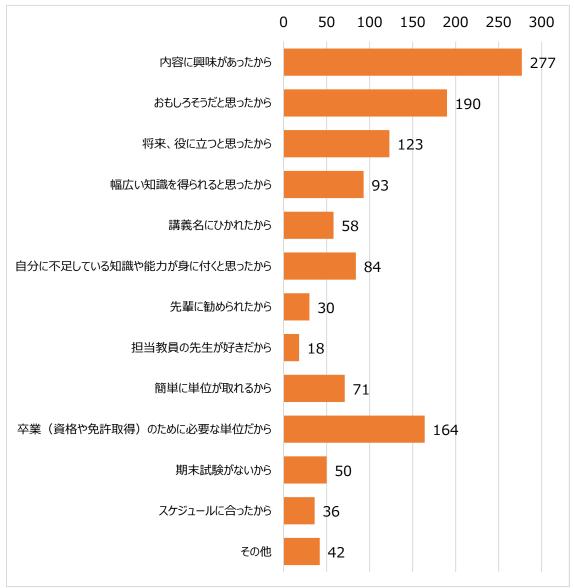
暮らしの中の科学

生物の進化と多様性

教育史

教育指導論

問 12 自由選択科目の受講動機(複数選択可)



- ・必要ないから取っていない(11)
- 友達に勧められたから
- ・先生に勧められたから
- ・学部のコースで受講が推奨されたから(2)
- ・必修だから(12)
- ・取るように言われたため(4)
- ・国際人育成プロジェクトの一環として
- ・グローバル人材育成プログラムの習得条件
- 大学にいるからこそ、長崎にいるからこそできる

科目だと感じたから。

- ・もっと長崎について知りたかったから
- 受けろと言われたから
- ・高校時代に生物を勉強していなかったから
- ・楽だと思ったから
- ・だまされた
- ・わからない(2)
- なんとなく(2)

問 13 印象に残っている教養教育科目

あなたがこれまでに受けてきた教養教育科目(全学モジュール科目、教養ゼミナール科目、情報基礎科目、外国語科目、健康・スポーツ科学科目、自由選択科目)のうち、最も印象に残っている科目や友人におすすめしたい科目を教えてください。

印象に残っている教養教育科目	教員名	回答数
オランダ学	山下龍先生	2
オランダの文化	山下龍先生	3
オランダ語入門	山下龍先生	2
英語コミュニケーション	山下龍先生	2
英語コミュニケーションⅡ	山下龍先生	
スポーツ・音楽におけるコミュニケーション	西田治先生	
音楽とことば	西田治先生	
音楽・スポーツにおけるコミュニケーション	西田治先生	3
初等音楽教育	西田治先生	
英語コミュニケーション I	吉村宗司先生	3
英語コミュニケーション	吉村宗司先生	
総合英語	吉村宗司先生	
憲法	井田洋子先生	5
長崎学	姫野順一先生	4
韓国語	劉卿美先生	4
スポーツ演習	田中志保先生	4
破壊事故とヒューマンファクタ	勝田順一先生	4
集団内コミュニケーション	川越明日香先生	
マスメディアと表現	川越明日香先生	
脳とことば	川越明日香先生	
情報基礎	野崎剛一先生	3
教育行政·制度論	江頭明文先生	2
教育と社会	江頭明文先生	
総合英語	西原俊明先生	3
スポーツ演習	飛奈先生	3
英語コミュニケーション I	TOM DESI FAYMIN 先生	3
英語コミュニケーション	廣江顕先生	
英語上級クラス	廣江顕先生	

総合英語	廣江顕先生	
英語コミュニケーション	ダッツマンブライアン先生	
英語コミュニケーションⅡ	ダッツマンブライアン先生	
英語コミュニケーション	ベーシュウキー先生	2
環境	林先生	2
音楽	宮下茂先生	2
英語コミュニケーション	丸山真純先生	
英語コミュニケーションⅢ	丸山真純先生	
英語コミュニケーション	ローン悦子先生	
英語コミュニケーションⅢ	ローン悦子先生	
情報基礎	上繁義史先生	2
ドイツ語 I 、II	葉柳和則先生	2
疑似科学とのつきあい方	武藤浩二先生	2
教育行政·制度論	楠山研先生	2
総合英語	大坪有実先生	2
経営情報と会計情報	庵谷治男先生	
原価計算論	庵谷治男先生	
平和講座	戸田清先生	2
日本国憲法	小林寛先生	2
スポーツ演習	渡邉勝平先生	2
教養ゼミナール	森川裕二先生	
東アジアの国際関係	森川裕二先生	
教育相談	谷口弘一先生	2
フランス語	大橋絵里先生	2
英語コミュニケーションⅡ	CONNOR SUZY 先生	
英語コミュニケーション Ⅱ	CUTRONE PINO 先生	
核兵器のない世界を目指して	RECNA の先生	
先生の名前までは覚えていないが、「環境問題を考える」のモジ		
ュールの中の海洋環境に関するモジュールが楽しかった。この授		
業では、NHKのサイエンスZEROという番組を取り入れながら、	石橋郁人先生?	
授業を行っていて内容も適度に詳しく学ぶことができた。化学系		
に興味がある人にはお勧めしたいと思った。		
フランス語	大橋絵里先生	
English for Specific	小笠原真司先生	
リーダーシップ論	小原達朗先生	

スポーツ演習	河合史菜先生	
モバイルウェブアプリケーション入門	古賀掲維先生	
教養ゼミナール	瀬戸崎典夫先生	
核兵器とは何か	中村桂子先生	
エイズと性感染症	西田教行先生	
キャリア概論	深尾典男先生	
核兵器のない世界を目指して	三根眞理子先生	
性と生	宮原春美先生	
キャリアデザイン	矢野香先生	
身体心理学	山地弘起先生	
英語コミュニケーション	ルヴィエール先生	
教養ゼミナール	綿巻徹先生	
男女共同参画のすすめ	伊東昌子先生	
総合英語	井石哲也先生	
企業ファイナンス	吉田先生	
フランス語	橋本千鶴子先生	
教養ゼミナール	郷田秀一郎先生	
英語上級者クラス	隈上麻衣先生	
スポーツ演習	高橋浩二先生	
平成長崎塾	高橋正克先生	
中国語IV	高山乾忠先生	
中国語	高山忠人先生	
芸術の世界	三上次郎先生	
英語コミュニケーションⅢ	山田健太郎先生	
中国語	山田留里子先生	
スポーツ演習	山内正毅先生	
中国語	周国強先生	
物理科学	松田良信先生	
異文化接触とコミニケーション	松本久美子先生	
世界の中のヨーロッパ、アジア、アフリカ	正本忍先生	
現代の科学	赤羽良一先生	
英語コミュニケーションⅢ	川島浩勝先生	
教養ゼミナール	相樂隆正先生	
共生のグローバル人類学	增田研先生	
教養ゼミナール	大倉真人先生	

教養ゼミナール	大庭伸也先生	
宗教学	滝澤克彦先生	
情報基礎	丹羽量久先生	
日本のことばと文芸	池田幸恵先生	
	土橋力也先生	
教養ゼミナール	土肥大次郎先生	
スポーツ演習	藤木賢二先生	
アジアにおける人の移動と日本人	南誠先生	
教養ゼミナール	尾野村治先生	
	平山和久先生	
ドイツ語	目先生	
情報基礎	柳生大輔先生	
中国語	劉愛莉先生	
世界を知り、日本を知る	鈴木英明先生	
TOEIC に関する科目	廣江顕先生	
	賽漢卓娜先生	
NICE キャンパス在宅医療		
オリエンテーション		
健康・スポーツ科学		
健康科学		
スポーツ演習		45
生命と薬		
ドイツ語		3
フランス語		3
モジュール美と健康		
安全で安心できる社会		
英語コミュニケーション		9
英語コミュニケーション I		
英語コミュニケーションⅡ		3
英語コミュニケーションⅢ		
外国語科目		2
核兵器のない世界を目指して		4
教育原理論		2
教育心理		
教養ゼミナール		8

経済	
芸術と文化	
健康・スポーツ科学科目	
健康科学	11
情報基礎	7
情報社会とコンピューティング	
心身の健康と生命	
人の暮らしと海洋生物資源	3
全学モジュール科目	7
総合英語	8
総合英語 I	
中国語	5
日本の思想と文化	
物理科学	
暮らしに活かす情報技術	
暮らしの中の物理科学	
幼児体育	
教養教育科目の廃止を求めます	
共同授業(大分で九州の他大学の学生と合宿を通して交流	
をし、意見を言い合う場かあり一年の時に参加したが大変ため	
になった。)	

問 14 これまでに学んだことが役立っているか

教養教育で学んだことが今の大学生活にどのように役に立っていますか?

パソコンでのスキルがあがった。

パソコンの使い方がその後いろいろと役立っている。

パソコンを使いこなせるようになった。

パソコンを利用したデータ処理技術がプレゼンなどで役に立っている。

Office のソフトの使い方を学んだので実験のレポート作りに役に立った。

Excel の使い方。(3)

Excel が部活 OB 名簿整理に役立った。

Excel の使い方がわかり、バイト先でも使えた。

Excel の使い方がより分かったのでレポートが提出しやすい。

PowerPoint や Excel の使い方が、レポートやプレゼンテーションの発表に役立った。

PowerPoint 作りに役立った。

発表の PowerPoint 作りに役に立った。

授業での PowerPoint 作成に役に立った。

スライド作りの技術があがった。

Word が上達した。

プログラミングスキルが役に立った。

レポートの書き方が分かった。(4)

レポートのまとめが以前よりもよくなった。

レポートを書く時に悩まずに書けるようになった。

参考文献の書き方などが様々なレポート作成で役に立った。

バイトで役に立った。(3)

バイトの接客で役に立った。(2)

バイトの面接で役に立った。(3)

バイトの時の外国人観光客への対応で役に立った。

アルバイト

プレゼンテーションスキルが、バイトの面接に役立った。(5)

プレゼンテーションスキルが役に立っている。(17)

プレゼンテーションスキルが向上した。(7)

プレゼンテーションで人前に慣れた。(2)

プレゼンの経験は人前で話すことに役立っている。

プレゼンの授業で人前で話すのが苦ではなくなった。

プレゼンが人前で話すときに役に立っている。

プレゼンテーション、レポートの書き方の基礎が身に付いた。

プレゼンテーションスキルが、ゼミ面接に役立った。

プレゼンテーションのおかげで、人前でも意見が言えるようになった。

プレゼンテーションスキルが他の授業にも役立っている。

プレゼンテーションで身についた自己表現力で自分に自信がついた。

プレゼンテーションのスキルがパソコンの操作の慣れに役立った。

プレゼンテーションの経験ができた。

グループワークで身についたコミュニケーション能力が、バイトでの接客に役立っている。

グループワークで難しい話題を話し合うことで、話し合いの仕方自体を学ぶことができた。

グループワークなどの協力するチカラが、サークル活動などに役立った。

グループワークによって協調性が高められた。

グループワークにより、人とコミュニケーションをとる能力が身に付いた。

グループワークを通して、初対面の人とのコミュニケーション能力が上がった。

ディスカッションは、初対面の人とのコミュニケーションを学ぶことができた。

人の意見を批判的に考えることができるようになった。

人前に立って話すことでプレゼンする能力が身についた。

人前に出るのに慣れた。(3)

普段、討論機会がない人とも関わることができた。

コミュニケーションスキルが役に立った。(5)

コミュニケーションスキルが上がった。

自己表現する場が増えた。

自主発言が人脈を広げるために役に立った。

自分の意見を言うことができるようになった。

自分の学部での学問が役に立っている。

自分の活力になっている。

知識が向上した。相手を思いやる心が増えた。

知識が増えた。(6)

知識向上につながり、発表する能力が身についたと思う。

様々な知識を得られたことで、授業の内容をより批判的に考えられるようになった。

考える力が身についた。

主体的に考えるようになった。

いろんなことで考えが変わった。

知らないことを知れた。

調べ学習ができるようになった。

関連付けることがてきるようになった。

自信が身についた。

面接で役に立った。(3)

文系では学ばない広い知識を得ることができた。

勉強に対する姿勢が良くなった。

社会性が身についた。(2)

学外で接する社会人の方への対応を身につけた。

社会に出て知っておくべき知識が身に付いた。

社会人との会話の幅が広がった。

手紙を送る時に、文章の書き方が役に立った。

世界の歴史が分かり、授業の中で子どもたちに伝えることができるようになった。

積極的にコミュニケーションを取ることができるようになった。

先輩との関係がバイトに役に立った。

他学部の友人と協力することができるようになった。

友達を作る時に役に立った。

英語力が向上した。(3)

英会話スキルが向上した。

英語が前より読めるようになった。

英語でのコミュニケーション能力が身についた。

英語で学んだことが、塾のバイトで役に立った。

英語のコミュニケーションスキルが役に立った。

英語の留学に行こうという、意欲につながった。

外国人とのコミュニケーションに役立った。(2)

外人と話すのに抵抗が減った。

G-TELP, TOEIC

あまり日本人が知らないであろう英語の知識

PowerWords が英語の文章を読む時に役に立った。

接客の際に簡単な英語が役に立った。

ゴミに関する知識。

経営の(重心とか成り立ち)構成がバイト先で意見を求められたときに役立った。

経済学や経営学を学び、テレビを見ているときに、自分で補完しながら理解できるようになった。

情報基礎が役に立った。

情報基礎がレポート作成に役立った。

情報基礎科目が、プレゼンテーション資料の作成に役に立った。

算数の奥深さを知った。

リーダーシップ論で習った考え方がバイトでスタッフを纏める際に役に立った。

ダンス楽しかった。

一人暮らしの料理について意識するようになった。

生活習慣を見直すきつかけになった。

海産物を食べるときに意識するようになった。

海洋資源に興味がわいた。

韓国語の理解が深まった。

韓国旅行で韓国語を使うことができた。

教職科目がアルバイトの塾講師で役立っている。

教育相談での人との関わり方を知っ哉。

教養ゼミナールの学部が違う友達は今も友達である。

経済の知識が身に付いた。

健康科学の授業内容が日常生活で役に立っている。教養ゼミナールでプレゼンしたことで、PowerPointの使い方や発表方法がわかって、保健学科での授業で役立っている。

健康的な生活を心掛けるようになった。

原爆についての知識を今回母と暮せばが公開されるということで、地元の友達に話した時、その言葉の背景などを話した時に、長崎にいるからこそ知ることなのですごいと言われた。

障害児に対する見方が変わった。

食事の栄養バランスとカロリーを考えて食事をするようになった。

新聞社の左右の傾向がわかったので、普段読むときの参考になった。

身体の使い方かよく分かった。

長崎の歴史に詳しくなった。

長崎のうんちくを話すことができようになった。

日本のことが知れた。

時事がわかるようになった。

ニュースの内容がより分かりやすくなった。

学校で学んだ経済の知識がニュースや新聞を読む上で役に立った。

役に立っている。(5)

大学で学んだ知識が、バイトやボランティアの際に役に立った。

専門科目で役に立った。

実習に役に立った。

模擬授業のスキルが身に付いた。

部活で役に立った。

サークル活動

体を動かせた。

教科書のせいでお金がなくなった。

すべて

嬉しい。

テスト

あまり役に立っていない。(10)

役に立っていない。(26)

無意味。

専門だけに絞ってほしい。

全く役に立っていない。完全に時間の無駄である。これらを無くして3年制にした方が良い。

特にない。(40)

分からない(3)

まだ効果はわからない。

問 15 LACS を有効に活用している教養教育科目

あなたがこれまでに受けてきた教養教育科目(全学モジュール科目、教養ゼミナール科目、情報基礎科目、外国語科目、健康・スポーツ科学科目、自由選択科目)のうち、LACS を有効活用しているなと感じた科目を教えてください。

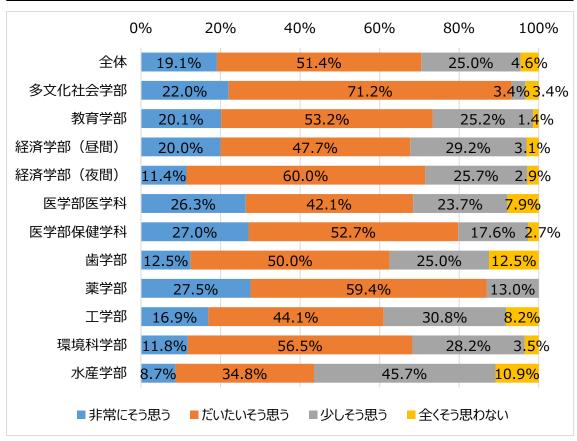
LACS を有効に活用している教養教育科目	教員名	回答数
経済政策	工藤健先生	16
環境情報処理	上繁義史先生	
情報基礎	上繁義史先生	10
集団内コミュニケーション	川越明日香先生	
集団内コミュニケーション	川越明日香先生	
マスメディアと表現	川越明日香先生	8
韓国語	劉卿美先生	5
音楽	三上次郎先生	
芸術の世界	三上次郎先生	3
ソフトウェアの利用技術	丹羽量久先生	4
情報基礎	鈴木斉先生	4
経済モジュール	鶴田仁先生	
地域社会と日本経済	鶴田仁先生	2
情報基礎	野崎剛一先生	3
英語コミュニケーション	奥田阿子先生	
英語コミュニケーションⅢ	奥田阿子先生	
総合英語	奥田阿子先生	
環境教育	星野由雅先生	3
情報化時代の仕事術	古賀掲維先生	
情報基礎	古賀掲維先生	2
モバイルウェブアプリケーション入門	古賀掲維先生	
総合英語	隈上麻衣先生	2
音楽と表現	西田治先生	2
教育心理	原田純治先生	2
音楽	宮下茂先生	2
教育心理	吉村宰先生	2
英語コミュニケーションⅢ	ローン悦子先生	3
企業の国際展開とグローバル人材育成	源島福己先生	2
応用情報処理	西田孝洋先生	2

疑似科学との付き合い方 身のまわりの科学 経営学 近現代のアジアと日本 初等社会科教育 現代経済と企業活動 応用数学 C 総合英語 文学と社会 民法 教育方法・技術論 芸術で見る世界と日本 機械制御 現代経済と企業活動 電本・統計 教養ゼミナール といの生物学	大野雅男先生 武藤浩二先生 武藤浩二先生 林徹先生 COMPEL RADOMIR 先生 井出弘人先生 笹川篤史先生 下本陽一先生 西原俊明先生 堀井健一先生 村山洋介先生	2
身のまわりの科学 点 経営学 木 近現代のアジアと日本 C 初等社会科教育 井 現代経済と企業活動 合 応用数学 C は 総合英語 力 文学と社会 は 民法 本 教育方法・技術論 者 芸術で見る世界と日本 当 機械制御 コ 現代経済と企業活動 当 確率・統計 計 教養ゼミナール 計 とトの生物学 計 微分積分学 I こ	武藤浩二先生 林徹先生 COMPEL RADOMIR 先生 井出弘人先生 笹川篤史先生 下本陽一先生 西原俊明先生 堀井健一先生	2
経営学 近現代のアジアと日本 初等社会科教育 現代経済と企業活動 応用数学 C 総合英語 文学と社会 民法 教育方法・技術論 芸術で見る世界と日本 機械制御 現代経済と企業活動 確率・統計 教養ゼミナール とトの生物学 微分積分学 I	林徹先生 COMPEL RADOMIR 先生 井出弘人先生 笹川篤史先生 下本陽一先生 西原俊明先生 堀井健一先生	2
近現代のアジアと日本 初等社会科教育 現代経済と企業活動 応用数学 C 総合英語 文学と社会 民法 教育方法・技術論 芸術で見る世界と日本 機械制御 現代経済と企業活動 確率・統計 教養ゼミナール 教養ゼミナール とトの生物学 微分積分学 I	COMPEL RADOMIR 先生 井出弘人先生 笹川篤史先生 下本陽一先生 西原俊明先生 堀井健一先生	2
 初等社会科教育 現代経済と企業活動 応用数学 C 総合英語 文学と社会 民法 教育方法・技術論 芸術で見る世界と日本 機械制御 現代経済と企業活動 確率・統計 教養ゼミナール 大の生物学 微分積分学 I 	井出弘人先生 笹川篤史先生 下本陽一先生 西原俊明先生 堀井健一先生	
現代経済と企業活動 名 応用数学 C プ 総合英語 透 文学と社会 切 民法 木 教育方法・技術論 君 芸術で見る世界と日本 母 機械制御 プ 現代経済と企業活動 母 確率・統計 母 教養ゼミナール 母 とトの生物学 力 微分積分学 I ス	笹川篤史先生 下本陽一先生 西原俊明先生 堀井健一先生	
応用数学 C 総合英語 文学と社会 民法 教育方法・技術論 芸術で見る世界と日本 機械制御 現代経済と企業活動 確率・統計 教養ゼミナール とトの生物学 微分積分学 I	下本陽一先生 西原俊明先生 堀井健一先生	
総合英語 文学と社会 民法 教育方法・技術論 芸術で見る世界と日本 機械制御 現代経済と企業活動 確率・統計 教養ゼミナール とトの生物学 微分積分学 I	西原俊明先生堀井健一先生	
文学と社会 期 民法 木 教育方法・技術論 差 芸術で見る世界と日本 当 機械制御 コ 現代経済と企業活動 当 確率・統計 当 教養ゼミナール 当 とトの生物学 村 微分積分学 I ス	堀井健一先生	
民法 木 教育方法・技術論 名 芸術で見る世界と日本 日 機械制御 日 現代経済と企業活動 日 確率・統計 日 教養ゼミナール 日 大の生物学 村 微分積分学 I 日		
教育方法・技術論 者 芸術で見る世界と日本 当 機械制御 コ 現代経済と企業活動 当 確率・統計 コ 教養ゼミナール コ とトの生物学 本 微分積分学 I コ	村山洋介先生	
芸術で見る世界と日本 3 機械制御 1 現代経済と企業活動 3 確率・統計 2 教養ゼミナール 3 とトの生物学 4 微分積分学 I 2		
機械制御 コ 現代経済と企業活動 ご 確率・統計 ご 教養ゼミナール ご とトの生物学 村 微分積分学 I こ	若菜啓孝先生	
現代経済と企業活動 さ 確率・統計 さ 教養ゼミナール ご 教養ゼミナール ご とトの生物学 お 微分積分学 I こ	王維先生	
確率・統計 さ 教養ゼミナール き 教養ゼミナール さ とトの生物学 お 微分積分学 I さ	下本陽一先生	
確率・統計 さ 教養ゼミナール ご 教養ゼミナール ご ヒトの生物学 お 微分積分学 I こ	吉田高文先生	
教養ゼミナール 語 対養ゼミナール 語 ヒトの生物学 材 微分積分学 I こ	弦本敏行先生	
教養ゼミナール 高 ヒトの生物学 材 微分積分学 I ス	古里友宏先生	
とトの生物学 札 微分積分学 I ス	五島聖子先生	
微分積分学 I	高橋浩二先生	
	根本孝幸先生	
	才本明秀先生	
現代経済と企業活動 電	笹川篤史先生	
財務会計論	徐陽先生	
メディアと平和	森川裕二先生	
計量経済学Ⅰ	森保洋先生	
教養ゼミナール	相樂隆正先生	
青年期の健康・体力増進	中垣内真樹先生	
構造力学I	中村聖三先生	
環境ビジネス論 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	藤井秀道先生	
情報基礎	藤井美智子先生	
アジアにおける人の移動と日本人	南誠先生	
英語コミュニケーションⅡ 自	白水桂子先生	
環境統計学 場	堀江哲也先生	
ドイツ語 I 、II	葉柳和則先生	

英語コミュニケーション	2
学部モジュール	
暮らしの中の科学	
コミュニケーション基礎講座	
情報基礎	
情報社会とコンピューティング	3
安全で安心できる社会	2
英語コミュニケーション	
核兵器のない世界へ	
環境問題を考える	
韓国語	5
企業と経済活動	
教養ゼミナール	2
経済モジュール	3
現代経済と企業活動	2
初等生活科教育	
小学校算数	
上繁先生	
情報基礎	31
情報基礎 疑似科学	
情報基礎	
計量経済学	
心身の健康と生命	2
世界を知り、日本を知る	2
全学モジュール科目	21
総合英語	8
暮らしの中の情報科学	

問 16 LACS は、あなたの学習に役に立っていると思うか。

		非常にそう思う	だいたいそう思う	少しそう思う	全くそう思わな い	合計
全体	度数	155	418	203	37	813
	割合	19.1%	51.4%	25.0%	4.6%	100.0%
夕·大小社入兴·加	度数	13	42	2	2	59
多文化社会学部	割合	22.0%	71.2%	3.4%	3.4%	100.0%
教育学部	度数	28	74	35	2	139
教育子中 	割合	20.1%	53.2%	25.2%	1.4%	100.0%
経済学部(昼間)	度数	13	31	19	2	65
柱月子中(壁间)	割合	20.0%	47.7%	29.2%	3.1%	100.0%
経済学部(夜間)	度数	4	21	9	1	35
柱/月子印(1文181 <i>)</i> 	割合	11.4%	60.0%	25.7%	2.9%	100.0%
医学部医学科	度数	10	16	9	3	38
医子叩医子科 	割合	26.3%	42.1%	23.7%	7.9%	100.0%
医学部保健学科	度数	20	39	13	2	74
区子的体性子科	割合	27.0%	52.7%	17.6%	2.7%	100.0%
大学部	度数	1	4	2	1	8
本子中 	割合	12.5%	50.0%	25.0%	12.5%	100.0%
薬学部	度数	19	41	9	0	69
(米子中)	割合	27.5%	59.4%	13.0%	0.0%	100.0%
	度数	33	86	60	16	195
 工 ナ 마	割合	16.9%	44.1%	30.8%	8.2%	100.0%
環境科学部	度数	10	48	24	3	85
保保付于中	割合	11.8%	56.5%	28.2%	3.5%	100.0%
水産学部	度数	4	16	21	5	46
小生子印 	割合	8.7%	34.8%	45.7%	10.9%	100.0%

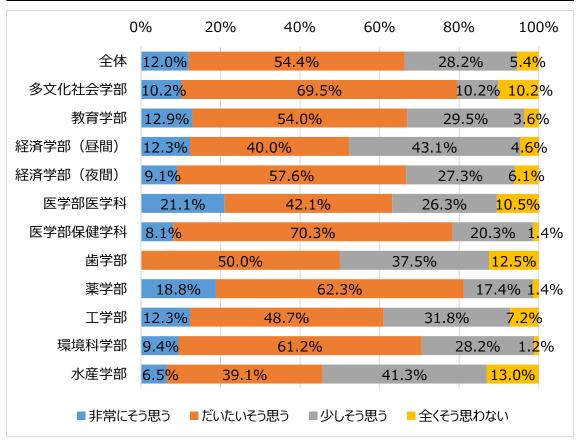


問 17 LACS の役立ち度(「全くそう思わない」と回答した理由。)

- 使っていない。(6)
- ・教員が利用してないから。(4)
- ・教員が使いこなせていない。(2)
- ・そもそも教員が LACS の場を整えていない。
- ・不便。仮に LACS でテストをやるとしても紙媒体の方がやりやすい。(2)
- ・レポートの提出が紙の場合が多いから。
- ・パソコンやスマホを持っていることを前提にしている。スマホじゃない人もいる。
- ・他のサイトを利用する教授がいてごちゃごちゃして分かりづらい。全ての教員が LACS を使うように統一してほしい。
- ・授業資料がいつでも確認できる。
- ・LACS のメッセージ機能を教授の方々も確認しないから。
- ・固まりすぎ、通信が重い。(2)
- ・掲示板の情報が載ってない。
- ・機能が少ない、eduecrossを導入してほしい。
- ·Mac に全く対応していない。
- あまり役に立ってない。

問 18 LACS の使い勝手は、良いか。

		非常にそう思う	だいたいそう思う	少しそう思う	全くそう思わな い	合計
全体	度数	97	441	229	44	811
	割合	12.0%	54.4%	28.2%	5.4%	100.0%
夕女儿头入兴如	度数	6	41	6	6	59
多文化社会学部	割合	10.2%	69.5%	10.2%	10.2%	100.0%
教育学部	度数	18	75	41	5	139
教月子部 	割合	12.9%	54.0%	29.5%	3.6%	100.0%
経済学部(昼間)	度数	8	26	28	3	65
栓湃子即(些间 <i>)</i> 	割合	12.3%	40.0%	43.1%	4.6%	100.0%
(文文学如 (右門)	度数	3	19	9	2	33
経済学部(夜間) 	割合	9.1%	57.6%	27.3%	6.1%	100.0%
医学动医学的	度数	8	16	10	4	38
医学部医学科	割合	21.1%	42.1%	26.3%	10.5%	100.0%
医学动促体学科	度数	6	52	15	1	74
医学部保健学科	割合	8.1%	70.3%	20.3%	1.4%	100.0%
大学部	度数	0	4	3	1	8
本子中 	割合	0.0%	50.0%	37.5%	12.5%	100.0%
薬学部	度数	13	43	12	1	69
余子中 	割合	18.8%	62.3%	17.4%	1.4%	100.0%
工学 如	度数	24	95	62	14	195
工学部	割合	12.3%	48.7%	31.8%	7.2%	100.0%
Tmf	度数	8	52	24	1	85
環境科学部 	割合	9.4%	61.2%	28.2%	1.2%	100.0%
→ 产学如	度数	3	18	19	6	46
水産学部	割合	6.5%	39.1%	41.3%	13.0%	100.0%

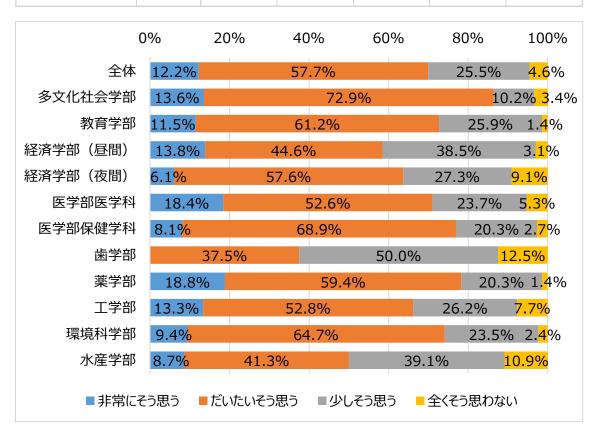


問 19 LACS の使い勝手の良さ(「全くそう思わない」と回答した理由。)

- ・使いづらい(3)
- ・教員や科目によっては全く活用されていない。(2)
- ・使っている教員が少ない。
- ・eduecross を導入してほしい。
- ・投稿されたときに通知がこない。(2)
- ・ToDoリストに新しく出てくるのはいいが、それをメールなどで通知してほしい。
- ・そもそも使っていない。(2)
- ・スマートフォンで見る機能が完璧でない。(2)
- ・全体的に挙動が重い。
- ・固まりすぎ、通信が重い。(3)
- ・システム上の問題が多発して、想定していた動作をしないといった問題を経験したので。
- ・出欠確認が正確に出てない。
- ·Mac に全く対応していない。
- 回りくどい。
- ・ふつう。
- 紙で印刷するのに手間がかかる。
- ・教員の間で LACS での連絡や課題の提出などについて統一されておらず、先生によってやり方が違いすぎることがあって混乱し、結果使いにくいと感じてしまう。
- ・ファイルがあげられても自身に連絡がこないままであり、知らないままテストが期限切れになったりする。また教員によってはあげたファイルと講義で使うファイルが異なる場合もある。
- ・NU-WebとMailをLACSに統合して欲しい。
- ・テストを受けにくい、また、携帯で見る場合開けないページがある。
- ・JavaScript で作られており、複数ページを開くことができないから。
- ・課題を出されたとき、答えに複数の表記の仕方があるとき、教員が指定している解答しか正解にならないのが非常に不便で意欲が下がる。

問20 総合的に見て、LACSに満足しているか。

		非常にそう思う	だいたいそう思う	少しそう思う	全くそう思わな い	合計
全体	度数	99	468	207	37	811
	割合	12.2%	57.7%	25.5%	4.6%	100.0%
多文化社会学部	度数	8	43	6	2	59
多人化社云子叫	割合	13.6%	72.9%	10.2%	3.4%	100.0%
教育学部	度数	16	85	36	2	139
教 月子副	割合	11.5%	61.2%	25.9%	1.4%	100.0%
経済学部(昼間)	度数	9	29	25	2	65
在月子中(空间)	割合	13.8%	44.6%	38.5%	3.1%	100.0%
経済学部(夜間)	度数	2	19	9	3	33
柱冲子中(12月)	割合	6.1%	57.6%	27.3%	9.1%	100.0%
医学部医学科	度数	7	20	9	2	38
区子即区子科	割合	18.4%	52.6%	23.7%	5.3%	100.0%
医学部保健学科	度数	6	51	15	2	74
区子即体 健子科	割合	8.1%	68.9%	20.3%	2.7%	100.0%
大学部	度数	0	3	4	1	8
州	割合	0.0%	37.5%	50.0%	12.5%	100.0%
薬学部	度数	13	41	14	1	69
采 子印	割合	18.8%	59.4%	20.3%	1.4%	100.0%
丁学部	度数	26	103	51	15	195
工 子副	割合	13.3%	52.8%	26.2%	7.7%	100.0%
理控制学如	度数	8	55	20	2	85
環境科学部	割合	9.4%	64.7%	23.5%	2.4%	100.0%
小在学 如	度数	4	19	18	5	46
水産学部	割合	8.7%	41.3%	39.1%	10.9%	100.0%



問 21 LACS の満足度 (「全くそう思わない」と回答した理由。)

- ・使っていない。(3)
- ・使い勝手が悪い。
- 使いづらい。
- ・不具合が多い。
- ・固まりすぎ、通信が重い。(2)
- 回線が悪い。
- たまにアクセスできない時がある。
- 回りくどい。
- ・統合して欲しい。
- 全ての教科で活用がなされていない。
- ・教員によって使う人、使わない人がいる。それでも、使わない人の割合が多い。
- ・教員が使うなら使う、使わないなら使わない、どちらかにしてほしい。
- ・使うなら全教科に近い形で使ってほしい。
- ・出欠が学生カードのみでしか反映されていない、カードを忘れた時に提出した出席用紙が反映されると良い。
- ・教員が紙のプリント配るため、あまり意味を見いだせない。
- ・紙で資料を配布される場合が多すぎて、有効活用されていない。
- ・ゼミに関しても、LACSを活用できれば良い。
- ・LACSにあげるより、メールで知らせて欲しい。
- ・vinayamatoの eduecross が便利で多機能だから使いやすいため。
- ·Macに全く対応していない。
- ・いらない。
- ・ふつう。